

平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）の
国庫補助に係るお知らせ

社団法人 日本リハビリテーション医学会
理事長 里宇 明元

このたび、本医学会は厚生労働省老健局長から平成22年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）の国庫補助に係る内示の通知を21年度に引き続きいただきましたのでお知らせいたします。本事業名は「リハビリテーションの提供に係る総合的な調査研究事業」で、兼ねてから本医学会がデータマネジメントシステムの構築を計画してきた事業を大きく前進させると期待される大変有意義な国庫補助であります。本調査研究事業では21年度にデータマネジメントに関する各種の調査、データベース項目2009の策定などを行いました。22年度は本医学会のデータベースの改善と学会員への普及を通じて調査研究基盤を整備することを計画しています。これにより、本事業の実施目的である、効果的で効率的なリハビリテーション医療を提供し、介護保険給付を受ける人を減らすための総合的な調査研究事業をさらに推進していく予定です。

平成22年度老人保健健康増進等事業の概要

[事業目的]

21年度の本事業で開発した学会データベースの改善と学会員への普及を通じて調査研究基盤の整備を進める。この学会データベースを活用し、1) 効果的で効率的なリハビリテーション医療を提供するためのエビデンスを得ること、2) 良質なりハビリテーション医療を提供している病棟の特徴を明らかにすることを中心とする「リハビリテーションの提供に関する総合的な調査研究」をさらに進めることを目的とする。

[事業実施計画]

平成21年度老人保健健康増進等事業として「日本リハビリテーション医学会データベース」（以下、リハDB）を開発した。平成22年度では、リハDBの改善、学会員への普及を進め、調査研究基盤を拡充する。参加機関の拡大、データ収集、データ分析、データのフィードバックなどのマネジメントシステムの開発を行う。また、収集したデータの分析を通し、効果的で効率的なリハビリテーション医療を提供するためのエビデンスを得る。

なお、平成21年度老人保健健康増進等事業の実施報告（概要）を近々UMI Nサーバーに掲載する予定ですので、併せてご参照ください。